【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成25年4月25日(2013.4.25)

【公開番号】特開2011-209000(P2011-209000A)
【公開日】平成23年10月20日(2011.10.20)
【年通号数】公開・登録公報2011-042
【出願番号】特願2010-74978(P2010-74978)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｃ　19/00　　(2013.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｃ　19/00　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成25年3月12日(2013.3.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ジャイロセンサーの各検出軸の方向を絶対軸方向とし、各絶対軸周りそれぞれの角速度を検出するように当該ジャイロセンサーの姿勢を変化させることを、複数通りの動作環境温度で行って、前記検出軸の出力値を記録することと、
前記出力値に基づいて前記ジャイロセンサーの温度依存特性を算出することと、
を含む校正データ取得方法。
【請求項２】
前記出力値と前記温度依存特性とを用いて、前記ジャイロセンサーのミスアライメント誤差を算出すること、
を更に含む請求項１に記載の校正データ取得方法。
【請求項３】
前記温度依存特性を算出することは、姿勢及び動作環境温度を変化させたそれぞれの場合の前記出力値を用いて、前記ジャイロセンサーの検出結果の出力値に含まれるゼロ点バイアス及びスケールファクターの温度依存特性を算出することを含む、
請求項１又は２に記載の校正データ取得方法。
【請求項４】
前記温度依存特性を算出することは、更に、前記ジャイロセンサーの検出結果の出力値に含まれる二次感度の温度依存特性を算出することを含む、
請求項３に記載の校正データ取得方法。
【請求項５】
請求項１～４の何れか一項に記載の校正データ取得方法によって取得された温度依存特性と、動作環境温度とを用いて、前記ジャイロセンサーの出力値を補正するジャイロセンサー出力補正方法。
【請求項６】
請求項２に記載の校正データ取得方法によって取得された温度依存特性と、動作環境温度と、ミスアライメント誤差とを用いて、前記ジャイロセンサーの出力値を補正するジャイロセンサー出力補正方法。
【請求項７】
ジャイロセンサーの各検出軸の方向を絶対軸方向とし、各絶対軸周りそれぞれの角速度

を検出するように当該ジャイロセンサーの姿勢を変化させることを、複数通りの動作環境温度で行って得られる、前記各検出軸の出力値を記録するデータ取得処理部と、

前記出力値に基づいて前記ジャイロセンサーの温度依存特性を算出する温度依存特性算出部と、

を備えた校正データ取得システム。